

認知症医療センターには、一般市民、専門職の方々へ認知症に関する情報を発信し、認知症の普及・啓発を促進するという重要な役割があります。センター便りとして定期的に情報を発信していきます

認知症のお薬について(その1)

■ 認知症の中核症状のお薬



認知症のお薬は大きく分けると二つあります。中核症状を治療するお薬と周辺症状を治療するお薬です。

ところどころに専門用語が出てきますが、当院ホームページ、「認知症について」をご参照ください。詳しく説明が書かれています。

まず中核症状ですが、

アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症には病気の進行を遅らせるお薬が処方されます。飲み薬が多くありますが、貼り薬もあります。最近は注射液も処方できるようになりました。症状や副作用を考え、お薬が処方されます。



抗認知症薬の種類

製剤名	ドネペジル	ガランタミン	リバスチグミン (貼り薬)	メマンチン
適応	軽度から高度	軽度から中等度	軽度から中等度	中等度から高度
対象	アルツハイマー型認知症・レビー小体型認知症	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー型認知症

■ 認知症の周辺症状のお薬

次に周辺症状です。周辺症状で多くのご家族や施設のスタッフがお困りでしょう。受診される際、周辺症状に振り回され、疲労困憊されている姿をみかけます。

周辺症状には統合失調症を治療するお薬をごく少量処方します。認知症の治療なのになぜ統合失調症のお薬が処方されるの?と疑問を持たれる方がいると思います。周辺症状は統合失調症の症状によく似ています。周辺症状の治療に統合失調症のお薬を用いると効果がみられたため処方されるようになりました。



周辺症状のお薬

症状	感情の起伏	幻覚・妄想	イライラ	不眠	抑うつ	意欲低下
製剤名	抑肝散・ バルプロ酸	クエチアピン ・リスパリドン	スルピリド・ チアプリド	ブロチゾラ ム・トラゾドン	セルトラリン	ドネペジル (少量)・アマ ンタジン

■ 認知症のお薬の副作用

お薬の副作用についてです。中核症状のお薬は主に胃腸の具合が悪くなる、眠気が出るなどがあります。周辺症状のお薬は主に眠気が出ます。その他ありますが、何か気になるところがあればご相談ください。

薬剤師 白石英樹



認知症啓発のための 第1回市民向け&専門職向けセミナーを開催いたします

【開催日時】 令和6年3月16日(土) 13:00~

【会場】 ユメニティのおがた 小ホール

【プログラム】

1. 記念講演

「認知症の人が見ている世界」～認知症の人への関わり方の基本を学ぶ～

講師 株式会社 Re 学 代表取締役 川畑 智 先生

2. シンポジウム「認知症になっても住み慣れた街で暮らし続けていくために必要なこととは」～重症化を防ぐために～

シンポジスト

認知症サポート医の立場から: みずほ内科・レディースクリニック 院長 輪田 順一先生

ケアマネジャーの立場から: きんもくせいケアプランサービス管理者 豊田 裕二さん

家族の立場から 認知症の人と家族の会 代表 宗廣 壽美子さん

(座長) 医療法人福翠会高山病院 院長 高山 克彦

(コメンテーター) 株式会社 Re 学 代表取締役 川畑 智 先生

【参加申込方法】

右記の QR コードをスマートフォンで読み取り、お申込みいただくか、下記の認知症医療センター専用電話へ直接ご連絡ください。



【編集・発行】

医療法人 福翠会 高山病院 福岡県認知症医療センター

〒822-0007 福岡県直方市下境 3910-50

TEL 0949-23-0520(専用電話) FAX 0949-24-0838

E-Mail takayamaninchis@gmail.com URL <https://nogata-fukusuikai.jp/>